

## 基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当：健康増進課)

### 主な取組内容

1. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。
2. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

### 1 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しました。

#### (1) エイズ地域特別対策事業

##### ① AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成29年 6月 4日 10:00～14:00	菟野町保健福祉センター けやきホール	保健所職員 2名	啓発ティッシュ・啓発物品等100個配布と AIDS予防・HIV検査啓発ポスター掲示 HIV/AIDSクイズの実施
平成29年 9月28日 10:30～12:30	桑名シティホテル 5階宴会場	保健所職員 2名	啓発ティッシュ・啓発物品等120個配布と AIDS予防・HIV検査啓発ポスター掲示 パンフレットの配布

##### ② 「世界エイズデー」街頭キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成29年12月 1日 7:40～ 8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 4名	啓発ティッシュ500個配布

##### ③ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成29年 12月 5日 18:30～20:00 桑名市大山田コミュニティーセンター1階 中会議室	医療・介護・福祉・ 保健・行政関係者	27名	講演 「知ることから始めよう 最近のHIV/AIDSについて」 ～HIV/AIDSは慢性疾患のひとつです～ 講師 名古屋医療センター HIV/AIDSコーディネーターナース 羽柴 知恵子 氏

#### (2) エイズ相談・検査実施日時（平成29年度）

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

##### ① HIV抗体検査、電話・面接相談者数

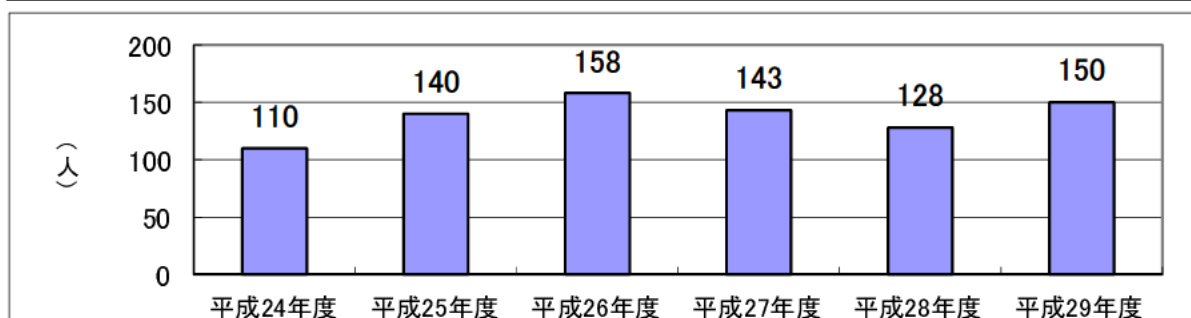
	男	女	計
電話・面接による相談件数	15	4	19
HIV抗体検査件数	109	41	150



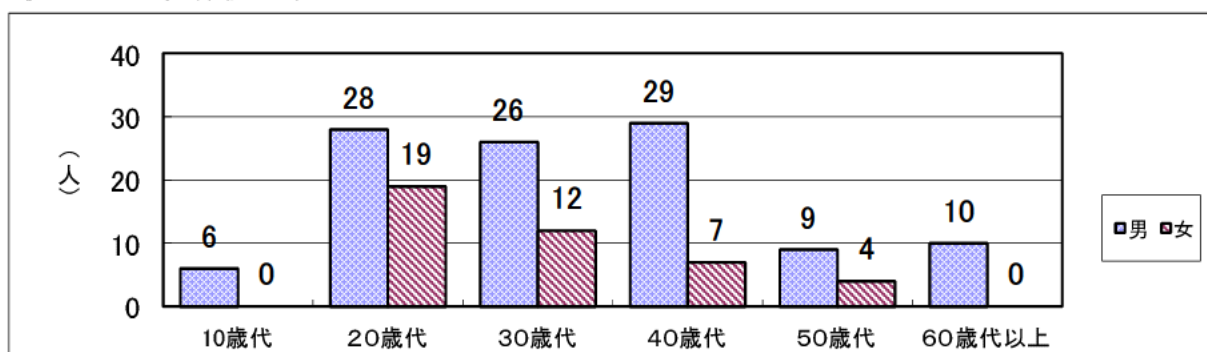
(レッドリボン)

② HIV抗体検査件数の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
検査件数	110	140	158	143	128	150



③ HIV抗体検査年代別件数



(3) 特定感染症検査件数（平成29年度）

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、梅毒、B型・C型肝炎検査を希望の方に対し、相談や検査を実施しました。

	男	女	計
梅毒	109	40	149
B型肝炎	110	41	151
C型肝炎	110	41	151

(4) 感染症に関する予防啓発

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成29年 4月19日 桑名保健所 衛生教育室	桑員地域栄養士活動連絡協議会会員	7名	「感染症について」 桑名保健所 健康増進課
平成29年11月21日 北勢きらら学園	学校教職員	70名	「学校において注意すべき主な感染症とその予防対策」 桑名保健所 健康増進課
平成29年10月13日 平成30年 2月26日 椿トランステック協同組合	技能実習生	10名 4名	「健康管理（結核）について」 桑名保健所 健康増進課

(5) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

	計
B型肝炎	5
C型肝炎	5

2 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

### 3 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられました。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図りました。

#### (1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めました。

##### ア 新登録患者数（活動性分類、性別、年齢階級別）

平成29年1月1日～平成29年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症		
				肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性					
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	31	21	10	13	10	3	3	2	1	4	3	1	11	6	5	17	9	8
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	2	2	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	2
30～39	2	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
40～49	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
50～59	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	2
60～69	6	3	3	-	-	-	1	1	-	2	1	1	3	1	2	3	3	-
70～	19	15	4	9	8	1	2	1	1	1	1	-	7	5	2	3	2	1

##### イ 年末現在登録者数（活動性分類、受療状況別）

平成29年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核					不活動性 結核	活動性 不明
				肺結核活動性				肺外結核 活動性		
				計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽性	菌陰性、 その他			
計	94	19	11	3	5	3	60	12		
入院中	5	5	4	1	-	-	-	-		
外来治療中	19	14	7	2	5	3	-	2		
治療なし	69	-	-	-	-	-	60	9		
不明	1	-	-	-	-	-	-	1		

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成29年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	活動性結核の有病率				
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		28年			29年	
管内計	94	11	3	5	3	60	12	14.5	7.8	
桑名市	56	6	2	2	1	38	7	17.1	7.9	
いなべ市	15	2	-	1	-	10	2	17.5	6.6	
木曾岬町	5	1	1	-	-	2	1	-	31.8	
東員町	11	2	-	2	1	6	-	11.9	19.7	
菰野町	5	1	-	-	1	2	2	5.0	4.9	
朝日町	1	-	-	-	-	1	-	-	-	
川越町	1	-	-	-	-	1	-	27.0	-	

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	31	20	13	3	4	11	10.9	17
桑名市	15	11	7	2	2	4	10.7	10
いなべ市	4	3	2	-	1	1	8.8	2
木曾岬町	5	3	2	1	-	2	79.5	1
東員町	6	3	2	-	1	3	23.6	2
菰野町	1	-	-	-	-	1	2.5	-
朝日町	-	-	-	-	-	-	0.0	2
川越町	-	-	-	-	-	-	0.0	-

(2) 結核検診実施状況

平成29年度

対象別	項目	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	IGRA検査	結核患者発見者数	(別掲)潜在性結核感染症発見者数
		対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,314	-	-	2,207	85,342	26,902	7	-	1	-
	事業者	-	-	-	-	8,732	8,537	-	-	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,232	2,231	-	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	1,169	1,088	-	-	-	-
	市町長	2,314	-	-	2,207	73,209	15,046	7	-	1	-
定期外	計	/	4(4)	2(2)	-	/	70	-	199(20)	-	13
	接触者	/	/	-	-	/	39	-	153(14)	-	9
	患者家族	/	4(4)	2(2)	-	/	28	-	46(6)	1	4
	患者管理	/	-	-	-	/	3	-	-	-	-

( ) 内の数字は医療機関委託分(再掲)

## (3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成29年度

項目 市町別	住民健診 対象者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 発見 数 (G)	(G)/(D) %
					受診人員			(D)/(A) %		
					間接撮影数	直接撮影数	計 (D)			
管内計	73,209	2,314	2,207	95.4%	10,503	4,543	15,046	20.6%	-	-
桑名市	36,195	1,129	1,076	95.3%	5,214	349	5,563	15.4%	1	0.02%
いなべ市	11,950	349	327	93.7%	2,983	859	3,842	32.2%	-	-
木曾岬町	1,940	28	27	96.4%	138	218	356	18.4%	-	-
東員町	7,566	195	168	86.2%	-	2,591	2,591	34.2%	-	-
菰野町	10,646	328	328	100.0%	1,819	-	1,819	17.1%	-	-
朝日町	2,052	106	106	100.0%	349	-	349	17.0%	-	-
川越町	2,860	179	175	97.8%	-	526	526	18.4%	-	-

## (4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

## ア 感染症法第37条申請診査件数 平成29年中

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	35	14	21	14
承認件数	35	14	21	14

## イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く)

平成29年中

保険別 区分	計	被用者保険		国保	後高	生保
		本人	家族			
申請件数	39	13	0	11	14	1
承認件数	39	13	0	11	14	1

## (5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成29年4月1日現在

氏名	役職名
北川良子	桑名西医療センター 内科部長
佐藤孝之	佐藤内科 院長
菅原望	いなべ総合病院 内科医長
加藤文枝	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
大橋真由美	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

## (6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日(但し、5月1月は、第2第4木曜日) 14:30~15:00 受付

## (7) 結核対策特別促進事業

### ア 目的

高蔓延国出身外国人技能研修生の受け入れ事業所及び研修生に対し、結核に関する正しい知識の普及啓発を行うことで結核の早期発見・治療につなげます。また、地域全体で結核患者の服薬を支援できる体制を整えることで、結核患者の確実な治療、および結核の蔓延予防につなげます。

### イ 事業内容

#### 1) 外国人技能研修生に対する結核対策

##### ①外国人技能研修生および協同組合に対する健康教育

日 時：平成29年10月13日、平成30年2月26日

場 所：椿トランステクノ協同組合

対象者：モンゴル国籍の技能研修生14名及び協同組合職員1名

内 容：外国人技能研修生、協同組合職員に対して、結核の感染経路や治療方法、服薬の必要性や有症時の早期受診の重要性について健康教育を実施しました。

##### ②事業所における結核に関する知識の啓発

日 時：平成29年8月8日、8月28日、9月8日

場 所：管内1事業所内

対象者：技能研修生を多数雇用する事業所の日本人従業員および外国人の同僚

内 容：職場における接触調査時および接触者健診時に、結核に関する正しい知識の普及を行いました。

パンフレットを用いて結核の感染経路、治療方法、服薬の重要性などを説明しました。

#### 2) 管内地域全体の結核患者支援の体制づくり及び服薬支援(DOTS)

##### ③医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市羽津医療センター】

日 時：定例実施 毎月第1月曜日 15時～

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 結核担当看護師、外来看護師、薬剤師等  
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師

対象者：四日市羽津医療センターに結核にて入院中及び退院後の患者

参加回数 11回

検討人数 実人数12名 延人数13名

入院患者 実人数12名 延人数13名

##### ④コホート検討会

【四日市羽津医療センター】

日 時：平成30年2月5日 14時～16時

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター（医師、看護師、薬剤師、MSW、栄養士）  
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師6名

対象者：四日市羽津医療センターに退院後の治療終了患者

検討人数 16名

##### ⑤DOTS支援

平成29年度中

	病院・家庭等訪問	郵送	その他（来所・電話）
実人数	45	16	30
延人数	105	65	69

## ウ 成果

平成29年度、新登録結核患者のうち60歳以上の患者が77.41%を占めており、介護・福祉分野も含めた地域における他機関と連携しながら服薬支援を行いました。

患者にかかわる包括支援センターや高齢者施設職員、ケアマネージャーと十分に情報共有を行い、服薬に大きく影響を及ぼす生活全体についても他機関と連携をしながら支援を行ったことで、治療中断のリスク要因を抱える高齢結核患者が服薬を中断することなく治療に取り組んでいます。

また、平成29年度は外国人結核患者の服薬支援にも注力しました。

結核を発病した外国人労働者に対する支援のみならず、入国してきた外国人労働者に対する啓発活動を行ったことは長期的に管内の結核蔓延予防につながると考えられるため今後も継続していきます。